

2020.09.15

【米国】グーグル・アップル共同開発の接触通知システム、まもなく米国でもアプリ開始

グーグルのエンジニアリング担当副社長、デイブ・バーク氏は、プライバシーを保護しながら新型コロナウイルス感染者の濃厚接触者を追跡するために同社とアップルが共同開発した「接触通知システム（ENS）」の最新情報を発表した。

現在、アフリカ、アジア、欧州、北米及び南米の16の国と地域でENSを活用したサービスが開始されており、現在開発中のアプリも増えているとし、米国でも、同システムをベースにしたアプリの第1弾が近くリリースされる見込みとしている。

同氏によると、米国では現在、20の州・準州がENSを使うアプリを検討しているとのこと。これらの州・準州の人口を合わせると、米国総人口の45%を占めるという。

また、同氏は、接触通知APIと公衆衛生当局からの疑問に答え、その使用やプライバシーへの影響についての透明性向上のために提供していた文書・情報のアップデート、改善点についても紹介した。

政府によるフィードバックに従い、異なるアプリを使用する国間の相互運用性をサポートするようになったことや、周辺の端末検知精度が向上したこと、アプリやデバッグツールの信頼性が改善されたことなども明らかにした。